

# 2008年3月期 決算説明資料

2008年5月13日  
富士ソフト株式会社



※ 業績予想値・計画値については、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想・計画につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想・計画値と異なる場合があります。



# ● 目次

---

08/3月期 連結決算のポイント	P. 2～P. 9
中期経営計画	P. 10～P. 12
経営改革の流れと 新規事業への取り組み	P. 13～P. 25
新経営体制について	P. 26～P. 30



# 08/3月期 連結決算のポイント

---

---



## 08/3月期 通期連結業績

(単位:百万円)

連 結	2008年3月期 実績	2008年3月期 計画	計画比	2007年3月期 実績	前年比
売上高	170,739	165,000	103.5%	169,602	100.7%
売上原価	131,037	126,550	103.5%	130,761	100.2%
売上原価率	76.7%	76.7%	-	77.1%	-
売上総利益	39,702	38,450	103.3%	38,841	102.2%
売上総利益率	23.3%	23.3%	-	22.9%	-
販売費一般管理費	32,185	31,550	102.0%	29,469	109.2%
販管费率	18.9%	19.1%	-	17.4%	-
営業利益	7,517	6,900	108.9%	9,371	80.2%
営業利益率	4.4%	4.2%	-	5.5%	-
経常利益	7,761	7,200	107.8%	9,852	78.8%
経常利益率	4.5%	4.4%	-	5.7%	-
当期純利益	2,172	3,000	72.4%	726	299.2%
当期純利益率	1.3%	1.8%	-	0.4%	-

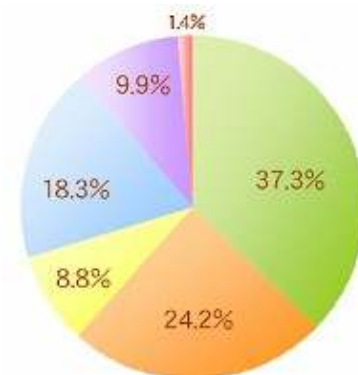


## セグメント別 連結売上高

(単位:百万円)

連 結	2008年3月期			
	売上高	構成比	前年差	前年比
売上高 合計	170,739	100.0%	1,137	100.7%
ソフトウェア開発関連事業 合計	120,086	70.3%	46	100.0%
組込系ソフトウェア開発	63,766	37.3%	139	100.2%
業務系ソフトウェア開発	41,328	24.2%	△ 2,231	94.9%
その他(※)	14,992	8.8%	2,139	116.6%
アウトソーシング事業	31,330	18.3%	△ 3,461	90.1%
ソリューションサービス事業	16,849	9.9%	2,238	115.3%
(内、物品販売)	10,611	6.2%	1,732	119.5%
その他事業	2,473	1.4%	2,314	1553.8%

※・・・自社開発製品のソフトウェアプロダクトの開発販売等



連結 売上高構成比

- 組込系ソフトウェア開発
- 業務系ソフトウェア開発
- その他ソフトウェア開発
- アウトソーシング事業
- ソリューションサービス事業
- その他事業



# ● 連結販売費および一般管理費

(単位:百万円)

連 結	2008年3月期 通期	2007年3月期 通期	前年差	前年比
販売費および 一般管理費	32,185	29,469	2,716	109.2%

## ● 主な増加科目

連 結	2008年3月期 通期	2007年3月期 通期	前年差	前年比	内 容
人件費	16,996	15,625	1,370	108.8%	上級管理職層の増強と社員数増加等
採用研修費	1,450	1,132	318	128.2%	技術者の中途採用と教育研修の強化等
販売支援費	1,173	386	787	303.9%	直接取引案件獲得強化のための活動費等
減価償却費	1,538	848	689	181.3%	秋葉原ビル関連の増加等
修繕費	379	115	264	328.7%	

## ● 主な減少科目

連 結	2008年3月期 通期	2007年3月期 通期	前年差	前年比	内 容
租税公課	576	1,386	▲ 809	41.6%	07/3期に不動産取得税(秋葉原)等



## ● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2008年3月期 実績	2007年3月期 実績	増減
<b>流動資産</b>	<b>69,265</b>	<b>67,733</b>	<b>1,531</b>
現金及び預金	21,556	16,266	5,290
有価証券	1,896	4,614	△ 2,718
<b>固定資産</b>	<b>108,195</b>	<b>110,073</b>	<b>△ 1,878</b>
有形固定資産	77,905	80,124	△ 2,219
無形固定資産	10,924	12,468	△ 1,543
投資その他の資産	19,365	17,480	1,884
<b>資産合計</b>	<b>177,461</b>	<b>177,807</b>	<b>△ 346</b>
<b>流動負債</b>	<b>88,766</b>	<b>85,412</b>	<b>3,353</b>
短期借入金	55,737	53,154	2,583
<b>固定負債</b>	<b>6,398</b>	<b>6,961</b>	<b>△ 562</b>
長期借入金	608	426	182
<b>負債合計</b>	<b>95,164</b>	<b>92,373</b>	<b>2,790</b>
資本金	26,200	26,200	0
資本剰余金	28,438	28,438	0
利益剰余金	35,802	34,312	1,490
<b>純資産合計</b>	<b>82,296</b>	<b>85,433</b>	<b>△ 3,136</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>177,461</b>	<b>177,807</b>	<b>△ 346</b>



# ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2008年3月期 実績	2007年3月期 実績	前年差
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,416	9,780	7,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,695	△ 19,867	8,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,301	8,474	△ 10,775
現金及び現金同等物の増減額	3,419	△ 1,612	5,032
現金及び現金同等物の期首残高	18,378	19,991	△ 1,612
子会社の新規連結による現金および 現金同等物増加額	176	-	176
子会社の連結除外による現金および 現金同等物減少額	△ 307	-	△ 307
<b>現金及び同等物の期末残高</b>	<b>21,667</b>	<b>18,378</b>	<b>3,288</b>

## キャッシュ・フローのポイント

- ・営業活動によるキャッシュ・フローの増加
- ・投資活動によるキャッシュ・フローの減少
- ・財務活動によるキャッシュ・フローの減少

仕入債務の増加、秋葉原ビルの減価償却費の増加等  
秋葉原ビル関連投資の減少等  
自己株式取得の増加等





## ● 連結子会社 業績

(単位:百万円)

	売上高		経常利益			当期純利益		
		前年比	利益率	前年比	利益率	前年比		
富士ソフト(東証一部)	89,297	96.3%	3,090	3.5%	53.0%	1,322	1.5%	262.3%
サイバネットシステム(東証一部)	20,942	110.2%	3,085	14.7%	109.1%	1,810	8.6%	119.4%
ヴァンキュラムジャパン(JASDAQ)	13,708	112.1%	785	5.7%	89.7%	444	3.2%	95.9%
サイバーコム(JASDAQ)	8,780	103.9%	601	6.9%	103.7%	340	3.9%	107.0%
富士ソフトDIS	22,997	86.4%	733	3.2%	125.5%	506	2.2%	-
富士ソフトKCS	6,834	116.6%	606	8.9%	110.4%	354	5.2%	115.1%
東証コンピュータシステム	4,827	95.6%	134	2.8%	182.3%	79	1.6%	71.5%
富士ソフトサービスビューロ	5,400	109.0%	148	2.7%	70.4%	13	0.3%	11.7%
OA研究所	1,743	74.1%	36	2.1%	-	35	2.0%	-
マーキュリースタッフینگ	2,483	270.0%	69	2.8%	122.9%	32	1.3%	79.3%
V&V	877	-	154	17.6%	-	92	10.6%	-

\* 1 連結子会社の中に、サイバネットシステム連結子会社2社、ヴァンキュラムジャパン連結子会社1社を含んでいます

### 主な連結非上場子会社のポイント

- ・富士ソフトDIS 予定されていた開発案件の延期等により減収となったものの、原価率の改善などで経常利益は増収に。
- ・富士ソフトKCS 金融系システム開発案件が好調に推移したために増収増益に。
- ・東証コンピュータシステム 新規事業の未達により減収になったものの、原価率の改善などで経常利益は大幅増収に。

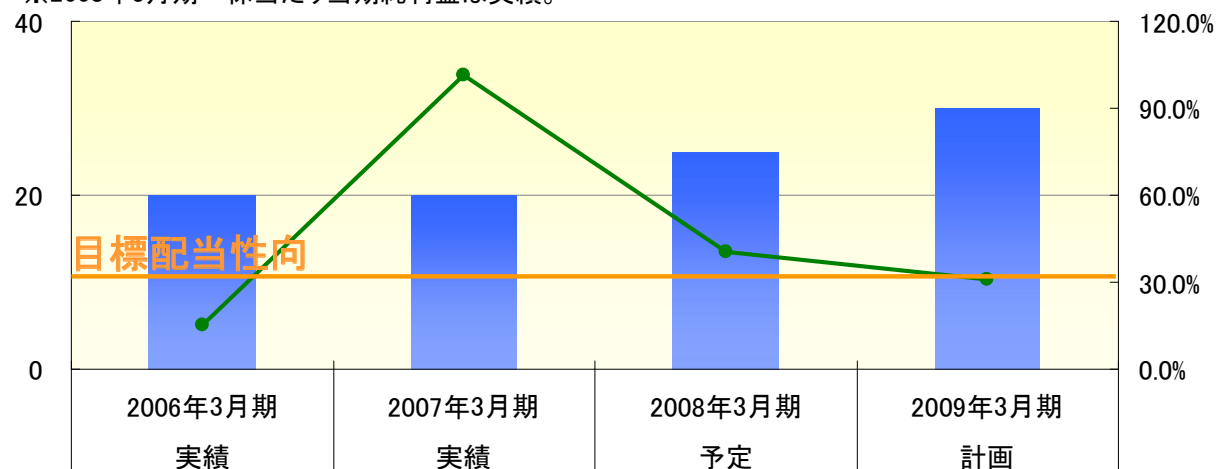


## ● 配当計画

(単位: 円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 予定	2009年3月期 計画
配当金	20	20	25	30
配当性向	15.4%	101.4%	40.4%	30.8%
1株当たり当期純利益	129.46	19.72	61.89 (※)	97.49

※2008年3月期一株当たり当期純利益は実績。



### 配当に関する方針

新規プロダクトの研究開発等の積極投資や、不慮の事業リスクに備えるために必要な内部留保を確保しつつも、目標配当性向「15%」を「30%」に引き上げることで、株主還元を努めていきます。



# 中期経営計画

---

---



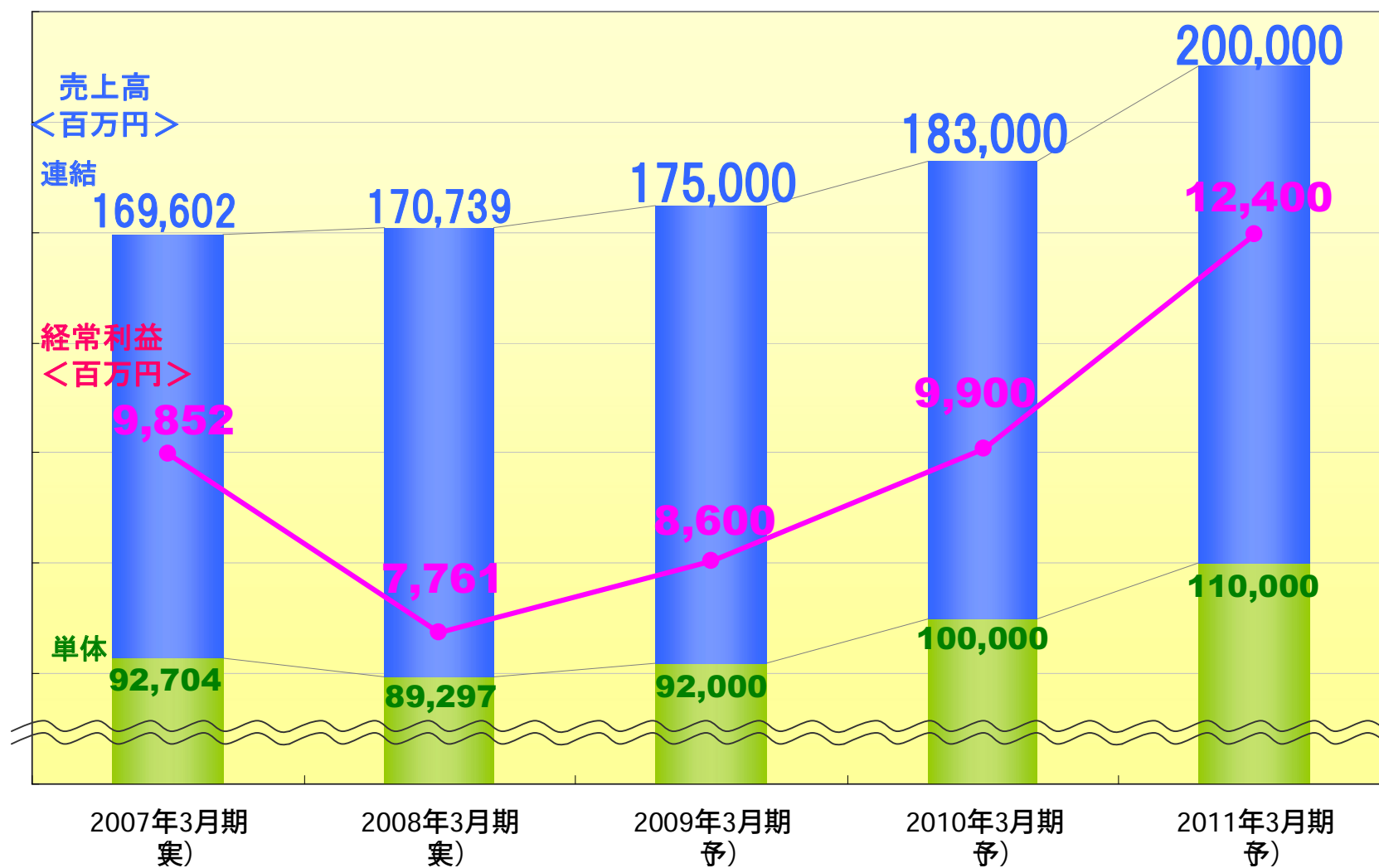
## ● 連結業績の推移

(単位:百万円)

連 結	2009年3月期		2010年3月期		2011年3月期	
		前年比		前年比		前年比
売上高	175,000	102.5%	183,000	104.6%	200,000	109.3%
売上原価	133,600	102.0%	139,300	104.3%	151,700	108.9%
売上原価率	76.3%	-	76.1%	-	75.9%	-
売上総利益	41,400	104.3%	43,700	105.6%	48,300	110.5%
売上総利益率	23.7%	-	23.9%	-	24.2%	-
販売費一般管理費	32,900	102.2%	33,900	103.0%	36,000	106.2%
販管費率	18.8%	-	18.5%	-	18.0%	-
営業利益	8,500	113.1%	9,800	115.3%	12,300	125.5%
営業利益率	4.9%	-	5.4%	-	6.2%	-
経常利益	8,600	110.8%	9,900	115.1%	12,400	125.3%
経常利益率	4.9%	-	5.4%	-	6.2%	-
当期純利益	3,300	151.9%	4,200	127.3%	5,500	131.0%
当期純利益率	1.9%	-	2.3%	-	2.8%	-



## 業績の推移





# 経営改革の流れと 新規事業への取り組み

---

---

## ● 経営改革の流れ

# 2009年3月期 世界へ「挑戦と創造」

- ・グローバル展開
- ・グループ会社の再編・強化

## 2008年3月期 燃えたぎる挑戦と創造！

- ・組込系→受託型ビジネスからプロダクトアウト型ビジネスへ  
(FS-mobile、FS-DTV)
- ・業務系→セカンダリー案件受注からプライム案件受注へ

## 2007年3月期

### 雷鳴とどろきわたる経営改革続行の年

- ・新事業・新技術の開拓
- ・高付加価値化／高採算案件へ
- ・グループ全体の不良資産処分
- ・新基幹システム

## 2006年3月期 経営改革元年

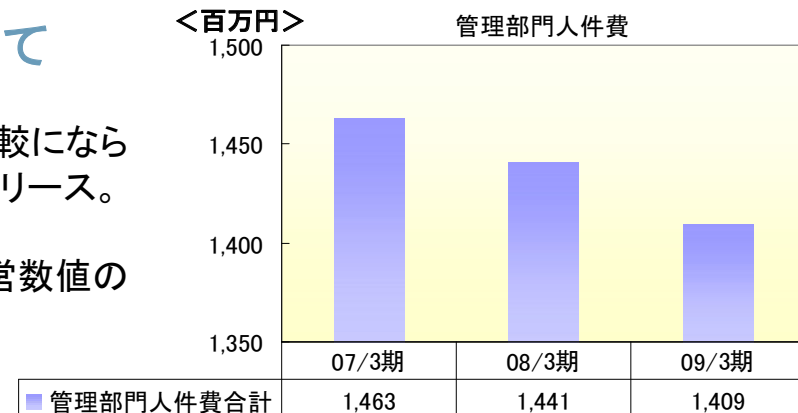
- ・トラブル撲滅
- ・標準ワークフロー全面改訂
- ・不良資産および仕掛品処分

# ● 新基幹システムのリリース・経営層の強化

## 新基幹システムのリリース

### 『軽くて強い管理部門』の実現化に向けて

- ・『軽くて強い管理部門』の実現化に向けて、従来とは比較にならない、高機能な全社会計システムを2008年4月1日よりリリース。
- ・全社レベルで管理経費の削減とよりスピーディーな経営数値の把握が可能になり、徹底した業務改革が実現。

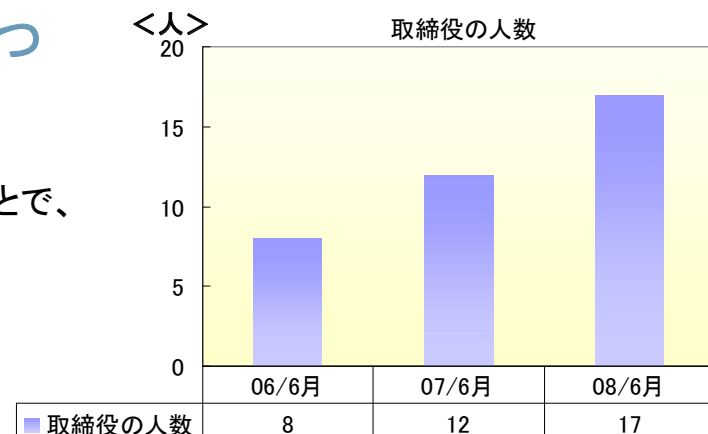


※上記の管理部門は、基幹システムを主業務で使用する本社部署の合計です。  
また、08/3月期の部署で換算し、ベースアップ等は加味していません。

## 経営層の強化

### 経営改革による体質改善を、今後の成長につなげるために

- ・今までの「ハイレベルな技術家集団」に、経営層を強化することで、どこにも負けない強いソフト開発集団を形成。







## ● 新事業ならびに新サービス

組込系ソフトウェア開発事業

「自動車組込ソフト開発」

業務系ソフトウェア新サービス事業

「FSサービス (FSSaaBIS)」

～ SaaBIS (Software as a Business Innovation Service) ～

ソリューション新サービス事業

「メディカルデータ保管ビジネス」  
「医療映像配信ソリューション」

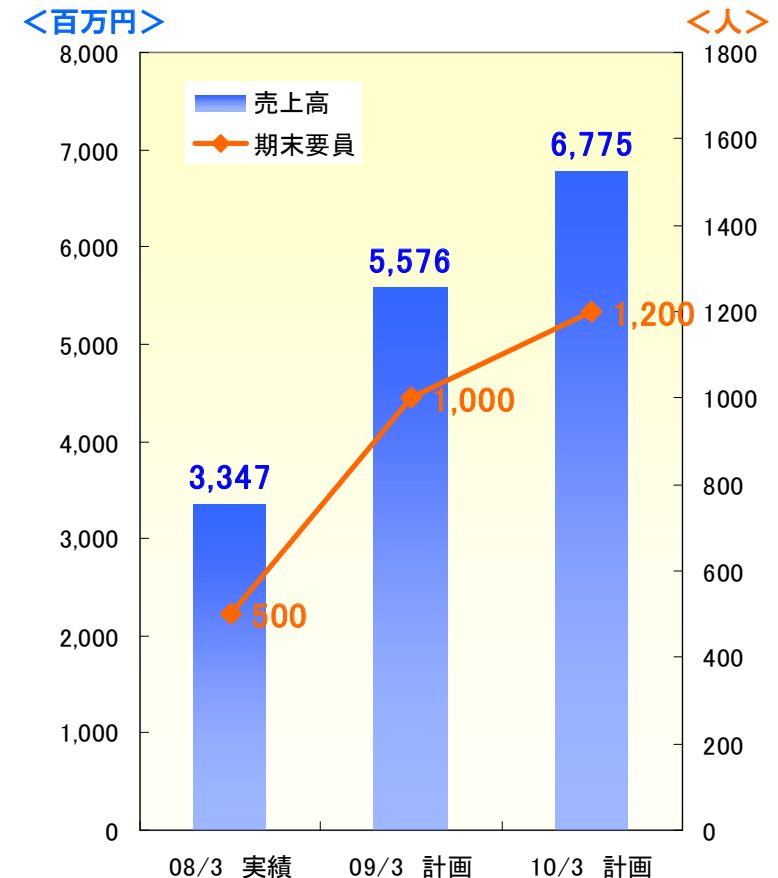
# 「自動車組込ソフト開発」

## 【内容】

自動車に搭載されるカーナビなどの通信機器から、エンジンコントロールユニット (ECU) まで幅広く対応することで、今後さらに高まる自動車組込ソフト開発市場に対応。

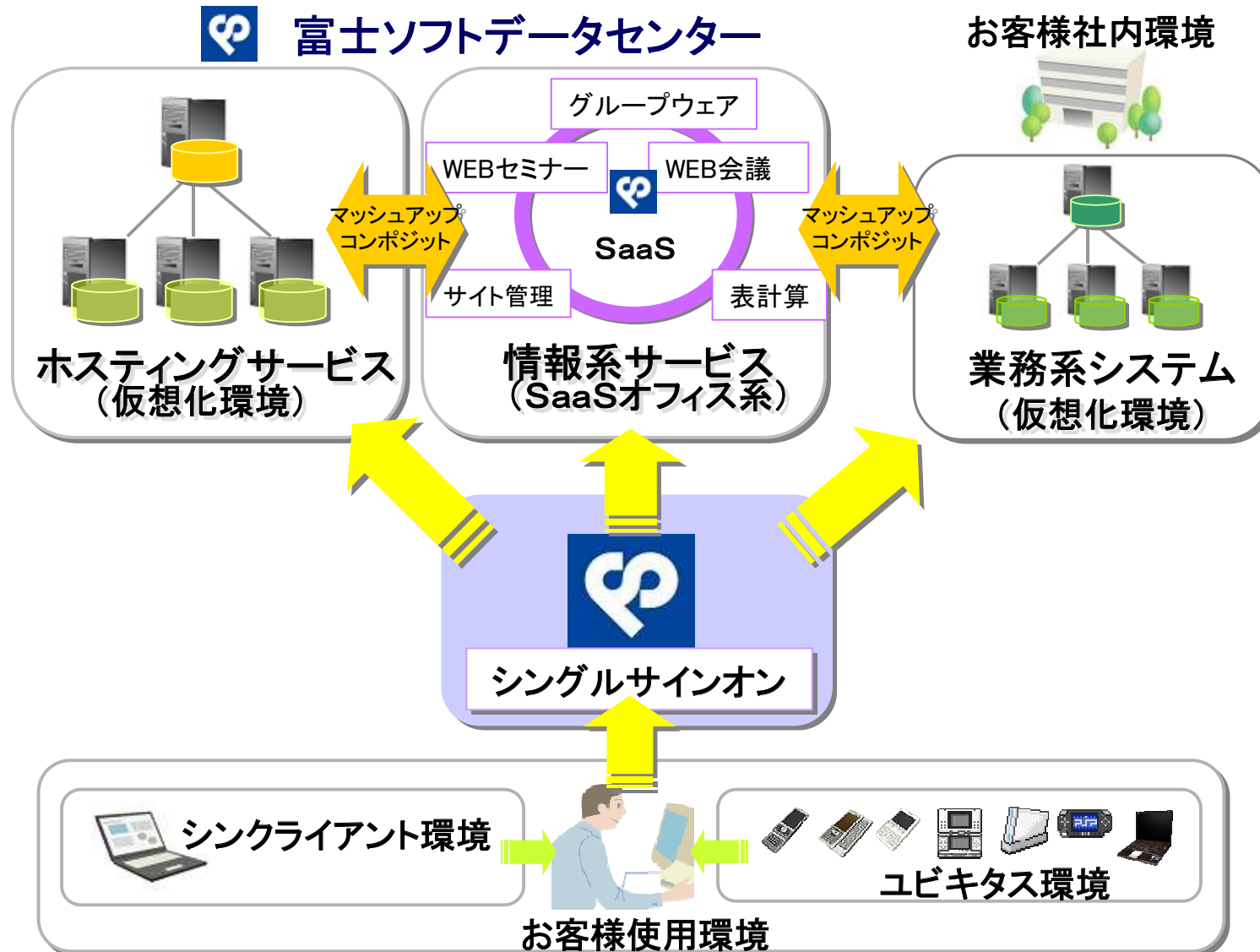
(単位: 百万円)

	08/3期実績	09/3期計画	10/3期計画
売上高	3,347	5,576	6,775





# ● 新ビジネス「FSSaaSBIS (FSサービス)」とは





# 「SaaS」アプリケーション

## 「ベスト・オブ・ブリード」

IT業界内の優れたSaaSアプリケーションを厳選し、  
ひとつに集めた他に類を見ない独自のSaaSを構築

### サインオン

SaaS型Single-Sign-Onサービス  
全てのSaaS提供サービスの入り口  
及びユーザーのID管理

### WEBセミナー

WEBセミナー機能  
(ブイキューブ社提供)

### グループウェア

グループウェア機能  
(デスクネッツ社提供)

### WEB会議

WEBテレビ会議機能  
(ブイキューブ社提供)

### 表計算

表計算機能・エクセル同等機能  
(インフォテリア・オンライン社提供)

### サイト管理

ホームページ保守機能  
(サイバーステーション社提供)

今後の予定： 文書管理、稟議、勤怠管理、勤務割、会議議事録、携帯対応  
電子秘書、経費精算、ワープロ、セキュリティ

# ● 「仮想化ビジネス」のサービス

## 「仮想化ビジネス」のサービス

### 1. シンククライアント化サービス

- ▶ 社内外の場所を選ばずに内外から自由にアクセスすることと、接続管理を可能にする。

### 2. サーバーの仮想化サービス

- ▶ サーバーを統合することにより、利用効率の向上。  
サーバー及び消費電力の削減を可能にする。

### 3. ホスティングサービス

- ▶ 堅固なセキュリティ設備を有する、データセンターの活用により、サーバー管理・運用コストの低減を可能にする。

# ● 「仮想化ビジネス」の主な戦略

## 仮想化ビジネスの主な戦略

### 1. (株)エム・ピー・テクノロジーズと業務提携

- 豊富な製品群、導入実績を持つMPT社と5月12日(月)に業務提携
- お客様のニーズにあった最適な組み合わせを提供



### 2. 6月より社内にシンクライアント300台導入

- 自社で全面的に中古PCを採用。社内のセキュリティ向上
- 安全な環境で外からアクセスすることが可能なため、営業マンの機動力がアップ
- お客様導入時における事前検証、使い勝手の向上

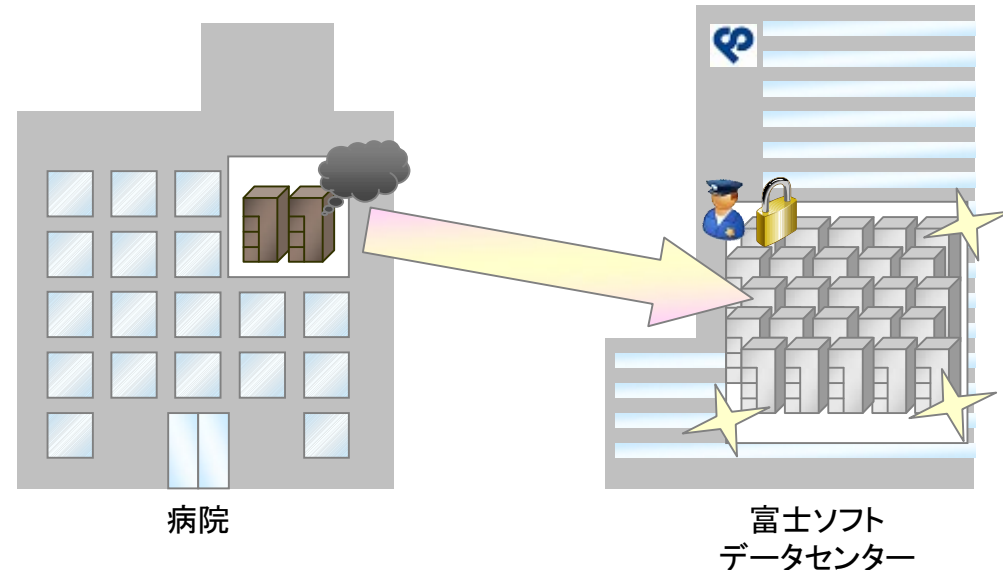
### 3. 「シンクライアントソリューション検証センター」新設

- 当社秋葉原オフィス内に新設、開設は5月19日(月)予定
- 事前のアプリケーション検証

# ● 新ビジネス「メディカルデータ保管ビジネス」

## 【内容】

各種医療情報が院外でも保管できるようになるガイドライン改正を期に、当社の映像圧縮技術や仮想化技術を利用し、当社が提供する高いセキュリティ環境のデータセンターで医療情報を保管する新規ビジネス。



## ■ ビジネスのトリガー

### 1. ガイドラインの新設・改訂

- ・医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第3版(改訂)
- ・医療情報を受託管理する情報処理事業者むけガイドライン(新設)

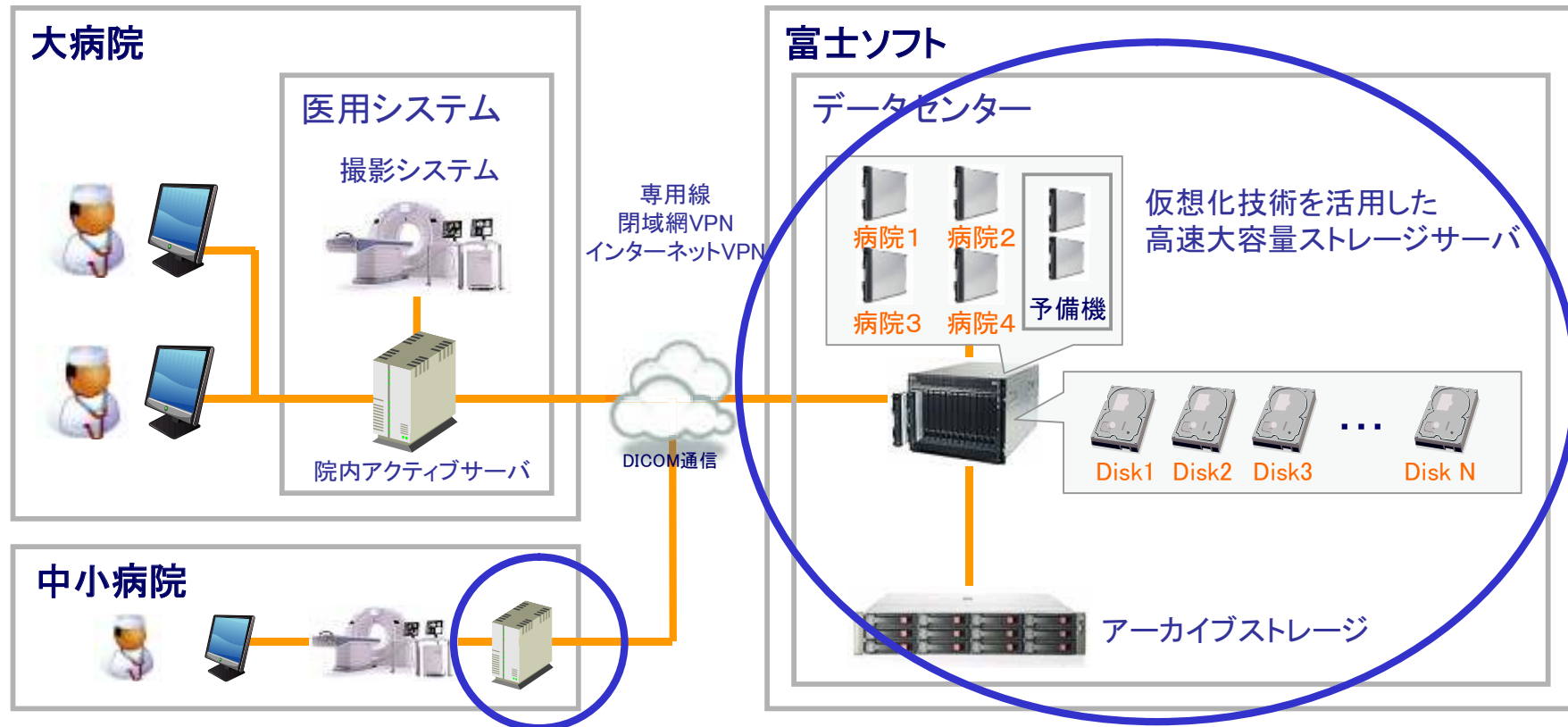
### 2. 平成20年度 診療報酬改定

- ・電子画像管理・保存加算の新設  
(フィルム費用は不算定、医療画像の電子保存ニーズ)  
⇒Filmless & デジタル保存

### 3. 遠隔医療の推進

# ● メディカルデータ保管例

## 【サービスイメージ】



- ・高いセキュリティと災害対策を備えたデータセンターを活用したストレージサービス
- ・アーカイブストレージによる長期保管サービス
- ・システム監視、運用保守サービス
- ・診療機関様との広域ネットワーク接続サービス

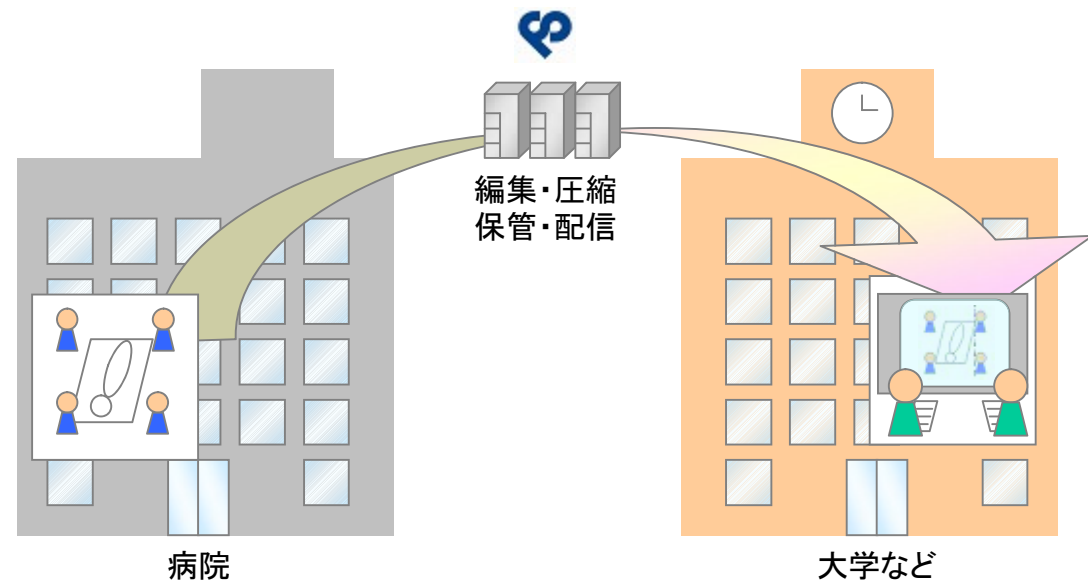


# ● 新ビジネス「医療映像配信ソリューション」



## 【内容】


医療現場の映像を高圧縮技術を利用して研究・教育機関や別の医療現場へ配信。医療ミスの軽減や高度先端医療技術の利用に役立ちます。




# ● 電子カルテシステムとの連携例

## (1) 医療画像ストレージとの連携


撮影システム




医療画像ストレージ




医療映像配信サーバ



電子カルテシステム



電子カルテ画面



The screenshot shows the following details:

- 患者情報:** ID: 000000001, テスト患者001, 男, テストカジ+001, 1966(昭和41)年06月06日生, 41歳, 11ヶ月2日
- 診療科目:** 内科
- 医師:** システム医師
- カルテ画面:** 2008-05-08, 前月, 翌月, 前々週, 前週, 翌週, 翌々週
- 医療イベント:**

日別	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
リハ														
経過														
サマ														
紹介														
初診														
手録														
レボ														
手術														
輸血														
入退														
給食														
処置														
病理														
- 右側ウィンドウ:** 依頼済み主簿, 依頼日時: 2008年05月08日 10時45分, 申込: 2008-05-08, 手術時間: 2時間 00分, 身長: 175.0, 体重: 92.0, 血液型: A型 Rh (+), 手術時間: 13:00開始希望, 診断名: 手術診断名1, 手術時間: 手術時間1, 麻酔科依頼: 有り, 麻酔方法: 全身, 術者: システム医師(内科), 助手: テスト職員134, 依頼事項: 術中造影, 得意先: 病棟



# 新経営体制について

---

---



## ● 新任役員

### 白石 晴久

((株)みずほ銀行 前常務取締役)

### 堀田 一芙

日本IBM(株) 元常務  
(現 当社 副社長)

### 河野 文豊

日本IBM(株)  
金融事業・次世代サービスシステム担当  
(現 当社 IT事業本部 副本部長)

### 山口 昌孝

(株)みずほ銀行 元システム運用部長  
(現 当社 IT事業本部 副本部長)

### 石田 正樹

ムービーテレビジョン(株) 元執行役員  
(現 当社 映像事業部長)

### 常川 健二

(株)武富士 元情報システム部担当  
(現 当社 管理本部 副本部長)

### 竹林 義修

(現 当社 システム事業本部 ET事業部長)

## ● 新社長候補について

### 氏名

白石 晴久 *Haruhisa Shiraishi*

### 略歴

- 昭和49年4月 株式会社第一勧業銀行 入行
- 平成16年4月 株式会社みずほ銀行 執行役員  
システム統合プロジェクト統括PT長
- 平成17年4月 同行 常務取締役 就任

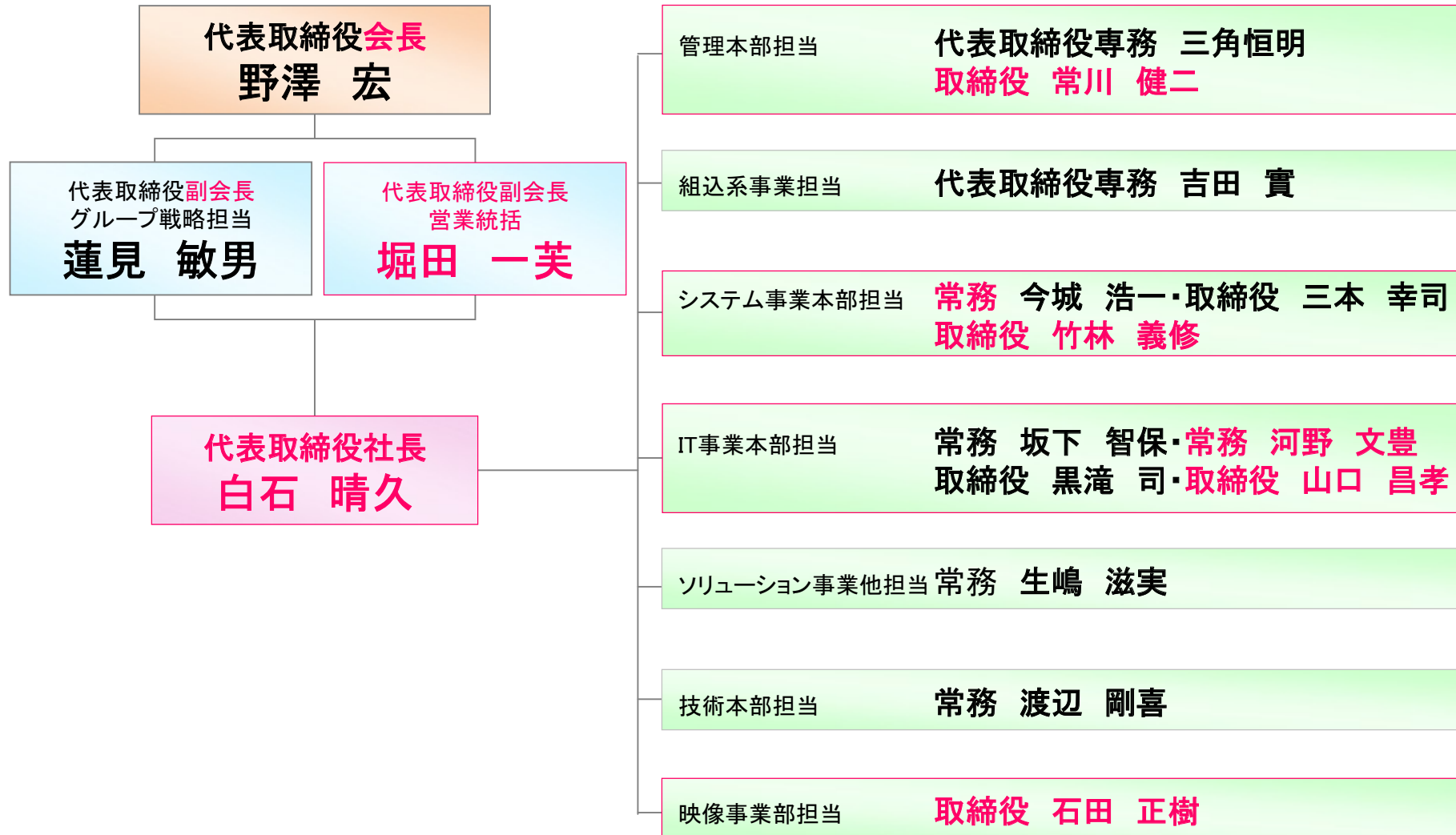
### 就任までのスケジュール

- 6月 1日 当社入社 顧問に就任
- 6月23日 定時株主総会にて、取締役へ選任議案  
を提出予定





# ● 新経営体制について





# ● 監査役・経営委員会

## 新任監査役と新監査役体制

### <新任監査役>

**相磯 秀夫**

現 東京工科大学学長

### <新監査役体制>

監査役 飛谷 安宣

監査役 佐々木 秀夫

監査役 中村 尚五

監査役 **相磯 秀夫**

## 経営委員会(社外委員)

経営共創基盤CEO **富山 和彦**

人事コンサルタント **加藤 孝**

**【会社概要】**

名称	<b>富士ソフト株式会社</b> 東証一部上場 証券コード:9749
本社	〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町1-1
設立	昭和45年5月15日
資本金	26,200百万円(平成20年3月31日現在)
連結子会社	13社(平成20年3月31日現在)
従業員数	10,529名(平成20年3月31日現在)
URL	<a href="http://www.fsi.co.jp">http://www.fsi.co.jp</a>